

◎第7回懇談会における意見等要旨及び対応等

項目	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
圏域の現状と課題	<p><b>①【医療の分野】12ページ</b>                      ・「地域医療連携～ネットワークづくり」に関する取組みの記載について、現在の取組み状況が反映されていない。                      (藤永委員:網走厚生病院)</p>	<p>・原課と協議のうえ、表記修正を検討する。</p>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p>【健康管理課】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                     別途、ビジョンに反映                 </div>	<p>【福祉課、住民福祉課】</p>
	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
	<p><b>②【広域観光の分野】12ページ</b>                      ・「女満別空港の国際チャーター便～優位性を図る」の箇所について、文章を修正すべき。                      (久田委員:網走市社会教育委員)</p>	<p>・内容確認のうえ表記を修正する。</p>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p>【観光課】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                     別途、ビジョンに反映                 </div>	<p>【総務課】</p>
	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
	<p><b>③【広域観光の分野】12ページ</b>                      ・空港を中心としたプロモーションが主となっているが、圏域として釧路圏などの他の地方圏との連携、情報交換なども検討が必要では？                      ・道路交通網の伸展に伴い、行き来が増えることも見込まれることから、地域の魅力づくりが大切になってくる。                      (深川委員:東藻琴観光協会)</p>	<p>・定住圏に限らず、広域観光に関する会議は幅広くある。                      ・周遊観光の点から、釧路空港エリアとの連携は重要であり、様々な取組みを検討中。</p>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p>【観光課】                      ・これからの観光は、単独の地域で誘客を図るよりも、近郊の地域の連携により、お互いの資源を活用した観光が効果的と考えている。網走と釧路はJR釧網線でつながっており、この沿線自治体と連携を図り、各地の魅力を総合的に示した誘客も、網走観光の重要なアイテムの一つと考えている。</p>	<p>【産業課、産業建設課】                      ・定住自立圏に限らず、周辺地域と連携し、お互いの強みを生かした広域的な取組を進めることは重要と考え、広域連携に関する会議等を通じて、更なる連携に努めたい。                      ・地域の魅力向上のためには、事業者等による取組が重要であり、更なる連携に努めたい。</p>

◎第7回懇談会における意見等要旨及び対応等

項目	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
<p>圏域の現状と課題</p>	<p><b>④【教育の分野】13ページ</b>                      ・学校教育に関する記載が少ない理由は？                       (久田委員:網走市社会教育委員)</p>	<p>・義務教育については各自治体が担う部分であり、広域連携に関してこれまで具体的な提案がなかったもの。                      ・高校への通学では、定住自立圏の要件にもあり、密接な関係があることから、表記修正を検討する。</p>
	<p>網走市の考え方</p>	<p>大空町の考え方</p>
<p>【事務局】</p>	<p>別途、ビジョンに反映</p>	
	<p>意見等要旨</p>	<p>懇談会での回答および対応案等</p>
<p><b>⑤【教育の分野】13ページ</b>                      ・美術館や博物館に関する情報発信や事業展開に係る連携について、現状は各市町で決めた内容しか反映されない。                      ・地域近郊の人たちの活動場所としてPRしていく必要があるほか、将来的な事業展開について現状を変えていく取組みは無いのか？                       (本間委員:大空町社会教育委員)</p>		<p>・原課に対して、全道のネットワークにおける市立、私立の美術館の位置付けの確認と事業展開に関する仕組みづくりの可能性について検討を求める。                      ・各市町の広報を活用した情報共有についても検討を行う。</p>
	<p>網走市の考え方</p>	<p>大空町の考え方</p>
<p>【美術館・博物館、広報】                      ・美術館、博物館では地域に関連した収蔵物の管理や作品展示を主な役割としており、施設の活用や事業の展開については、利用希望者などからの要望等があった段階で検討していきたいと考えている。また、全国の美術館情報を掲載しているホームページを活用した情報発信などを行っている。                      ・広報紙を活用した両市町のイベント情報等については、記事スペースの確保等を検討することが可能と考えている。</p>		<p>【生涯学習課、総務課】                      ・各種展示・催事情報が、網走市内のみである場合は、情報範囲を広げて大空町でも方法も含め周知を検討する。                      ・インターネットなど情報が溢れている現代社会の中で、見る、知るだけでなく、直接体験する取り組みが求められていることから、各施設での取り組みの充実を検討する。                      ・また、情報発信に関しては、広報誌を活用した網走市の情報発信に関して、検討したい。</p>
	<p>意見等要旨</p>	<p>懇談会での回答および対応案等</p>
<p><b>⑥【福祉の分野】15ページ</b>                      ・子育て支援に関する記載が少ない理由は？                       (久田委員:網走市社会教育委員)</p>		<p>・子育て支援については、現段階では待機児童等の課題が発生していない。                      ・将来的には、広域連携の必要性が議論・提案されてくる部分と認識している。</p>
	<p>網走市の考え方</p>	<p>大空町の考え方</p>
<p>【該当なし】</p>		

◎第7回懇談会における意見等要旨及び対応等

項目	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
<p>圏域の現状と課題</p>	<p><b>⑦【産業振興の分野】16ページ</b>                      ・職人、技能職のなり手がいない状況で、専門性の高い職種は人手が不足している。                      ・通年雇用などの課題がある中で、将来的にも人材不足が顕著となるが、広域での支援等の可能性は？                       (尾崎委員:網走商工会議所)</p>	<p>・ものづくりに関わる職人を雇用する企業に対するインセンティブをどうするかといった議論が始まった段階。                      ・原課に対して、技能者への研修等を広域的に実施していく点も会議所、商工会の協力を得て可能かどうか確認を行う。</p>
	<p>網走市の考え方</p> <p><b>【商工労働課】</b>                      ・網走地方高等職業訓練校では、網走地域(網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町)における技能労働者向けの事業内職業訓練や技能検定事業を行っており、今後も引き続き技能労働者の養成に取り組んでいく。                      ・旧網走高等技術専門学院の統廃合に伴い、網走地域における建築技能者等の人材の確保・養成のため設立された網走地域建築技能者等地域定着促進運営協議会では、修学資金制度をはじめとする人材確保事業や、技能・技術の向上を図るための各種研修事業等を行っており、今後も引き続き広域的な取り組みを進めていく。</p>	<p>大空町の考え方</p> <p><b>【産業課、産業建設課】</b>                      ・専門的な技術を持つ技能職の減少は地域課題となっていることは認識している。                      ・職業訓練や研修等を広域的に実施できるか関係機関との検討が必要と考える。</p>
	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
	<p><b>⑧【産業振興の分野】16ページ</b>                      ・地域の商店街における後継者不足が目立つ中、町として商店街として形成していくことができるのかということが大きな課題。                       (張山委員:大空町商工会)</p>	<p>・地元消費を充実させるという点で、地域の産業をどのように支えていくか、今後様々な取組みの検討が必要と認識している。                      ・1次産業などの強みを活かした6次化産業による新たな雇用・就労機会の生成や公共事業の確保といった点で、広域での取組みの検討を行う。</p>
	<p>網走市の考え方</p> <p><b>【商工労働課】</b>                      ・東京農大で取り組まれている「オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾」では、市内外から多くの塾生が受講され、ものづくりに関する広域のネットワークが構築されつつある。                      ・地域における新たな雇用・就労機会の生成の観点から、新製品・新産業の創出に向けて、これまでも各種支援を行っているが、ものづくりの拠点となる施設の相互利用などについて、今後研究していきたい。</p>	<p>大空町の考え方</p> <p><b>【産業課、産業建設課】</b>                      ・後継者不足、町外への購買流出など商店街を取り巻く状況は憂慮される状況であることは認識している。                      ・新規参入や起業などの支援も含めて検討していく必要があると考えている。</p>

◎第7回懇談会における意見等要旨及び対応等

項目	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
圏域の現状と課題	<p><b>⑨【産業振興の分野】16ページ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網走湖や藻琴湖で水揚げされたものは札幌や旭川近郊へ出荷されているのが現状。</li> <li>・「しらうお」などは地域で親しみを持てるように、年に一度飲食店に無料配布して食べてもらう取り組みやしらうお祭りなどを行っている。</li> <li>・現時点では、定住圏の事業として加えるイメージは無い。</li> </ul> <p>(尾居委員:西網走漁業協同組合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原課へ情報提供する。</li> </ul>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p><b>【水産漁港課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網走湖の水産物(シジミ・シラウオなど)を活用した定住圏としての事業の実施については、西網走漁業協同組合の意向・要望に基づき、対応を考えていきたい。</li> </ul>	<p><b>【産業課、産業建設課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西網走漁協の動向を見ながら検討を行う。</li> </ul>
	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
	<p><b>⑩【産業振興の分野】16ページ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オホーツク地域は十勝に次ぐ生産ロットを持つ農業地帯であり、JAとして「Fromオホーツク」という共通のロゴマークでブランドを確立していく取り組みを行っているが、オホーツクの海産物と農産物をタッグで発信する取り組みやそれに対する支援なども在って良いのではないかと？</li> </ul> <p>(菅野委員:女満別農業協同組合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原課へ情報提供する。</li> <li>・ブランド化、情報発信の取り組みについて検討。</li> </ul>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p><b>【農政課・水産漁港課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の個々の水産物(釣きんきやあぶらがになど)のブランド化の推進については、これまで種々取り組んできているところである。</li> <li>・水産物と農産物の連携した取り組みとしては、昨年度よりJAオホーツク網走、網走漁協、西網走漁協が共催する「海湖と畑の朝市」(年1回開催で水産物や農産物を販売)の開催を支援している。</li> <li>・定住圏など広域によるオホーツクの水産物と農産物を共同発信する取り組みについて、オホーツク圏内の農業を核とする地域産業振興に取り組んでいる(公)オホーツク地域振興機構では、広域での食品加工・ブランド化などの取組、情報発信が行われていることから、今後とも同機構や関係する各農業協同組合、各漁業協同組合の意向・要望に基づき、効果的なブランド化・情報発信等の取組について検討していきたいと考えている。</li> </ul>	<p><b>【産業課、産業建設課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランドとなる商品開発に向け検討を行う。</li> </ul>

◎第7回懇談会における意見等要旨及び対応等

項目	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
圏域の現状と課題	<p><b>○農業分野における労働力の確保について</b></p> <p>・将来的な農家戸数の減少が見込まれる中、農地は引き取り手があり、耕作放棄地が出る状況ではないが、野菜などの生産による所得確保が必要とは考えるが、人口が減る中で、定植期や収穫に労働力を確保するのが課題となっている。</p> <p>・主婦の方は労働力として貴重であることから、農業分野への進出について、仕組みづくりができないか？</p> <p>(菅野委員:女満別農業協同組合)</p>	<p>・原課へ情報提供</p> <p>・労働力確保に関する仕組みづくりについて検討。</p>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p>【農政課】</p> <p>・市の女性労働実態調査(H23年度)結果によると、将来働く場合の雇用形態では、「パート・アルバイト」が最も多く、また、労務作業職・農林業への要望は低い割合となっている。</p> <p>・今後は、こうした実情等をよく踏まえながら、労働力確保に向けた仕組みづくりについて検討していきたいと考えている。</p>	<p>【産業課、産業建設課】</p> <p>・将来的な労働力不足についての対応策として、コントラクター事業の体制整備を図り、必要に応じた人材を確保することについて検討する。</p>
項目	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
具体的取組	<p><b>○観光分野の一元化について</b></p> <p>⑪・「生活機能の強化」で広域観光という分野があり、「結びつきやネットワークの強化」で交流人口の拡大の記載がある。</p> <p>観光という分野を一つにまとめることはできないか？</p> <p>(尾崎委員:網走商工会議所)</p>	<p>・多岐の分野にまたがる取組みについては、記載方法を検討していく。</p> <p>※共生ビジョンの具体的な取組みについては、協定に基づいており、協定の具体的事項については総務省の定住自立圏構想推進要綱にて規定されている。</p>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p>【事務局】</p> <p>別途、ビジョンに反映                  ※共生ビジョンの具体的な取組みについては協定に基づいており、協定の具体的事項については総務省の定住自立圏構想推進要綱にて規定されている。</p>	
	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
	<p><b>○観光分野における受入側の取組みについて</b></p> <p>⑫・「広域観光」について、外国人の誘客活動はある程度効果があると思うが、リピーターを確保する上で、受け入れる側に外国語講習などがあれば、店側としてもありがたいのではないか？</p> <p>(菅野委員:大空町公募委員:商工会青年部)</p>	<p>・原課へ情報提供する。</p> <p>・観光関係者(受入側)向けの講習会開催の可能性について検討。</p>
	網走市の考え方	大空町の考え方
	<p>【観光課】</p> <p>・網走市では平成22～23年度にふるさと雇用再生特別対策事業として、網走市観光協会に委託して観光事業者(ホテル等)向けの外国語講習を実施した。</p> <p>・各事業者からの要望等に応じて、講習会開催の可能性を含め検討していきたいと考えている。</p>	<p>【産業課、産業建設課】</p> <p>・観光業に関わらず圏域全体としての『おもてなし』としての語学講習は必要と考えるが、行政主体で行うべきかの検討は必要。</p>

◎第7回懇談会における意見等要旨及び対応等

項目	意見等要旨	懇談会での回答および対応案等
その他	<p><b>○路線バス等の乗継状況について</b>                      ⑬・バスの乗継関係で、藻琴駅で親御さんの迎えを待つ高校生が多いが、時間帯の調整はどのような状況か？</p> <p>(久田委員:網走市社会教育委員)</p>	<p>(網走バス)                      ・状況確認と検討を行う                      (事務局)                      ・スクールバスは、小中学生の帰宅時間に合わせた時間帯となっているため、高校生が乗れない状況が発生している。</p>
	網走市の考え方	大空町の考え方
【該当なし】		